

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第10週の発生動向

トピックス

・新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,555例あり、2022年の累積報告数は15,439例となった。

全数報告の感染症 (10週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、播種性クリプトコックス症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	なし
			80歳代	女	肺結核	咳、痰
			90歳代	女	結核性胸膜炎	咳、呼吸困難
		日南	90歳代	女	左頸部リンパ節結核	頸部腫脹
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	尿路感染症
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	30歳代	男	—	頭痛、発熱、意識障害

新型インフルエンザ等感染症 (10週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 1,555例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群										症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
宮崎市	566例	138	108	72	70	91	46	23	13	4	1	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	316例	71	62	25	59	42	25	14	6	9	3	
延岡	234例	48	61	19	30	32	20	7	4	7	6	
日南	13例	1	2	3	3	2	—	2	—	—	—	
小林	13例	1	3	2	1	3	1	2	—	—	—	
高鍋	157例	12	7	27	21	13	9	20	13	23	12	
高千穂	38例	12	5	1	8	6	3	3	—	—	—	
日向	184例	34	34	14	31	29	10	12	7	10	3	
中央	25例	7	5	1	2	4	1	—	1	1	3	
県外	9例	1	1	4	—	1	—	2	—	—	—	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は362人(定点当たり10.6)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

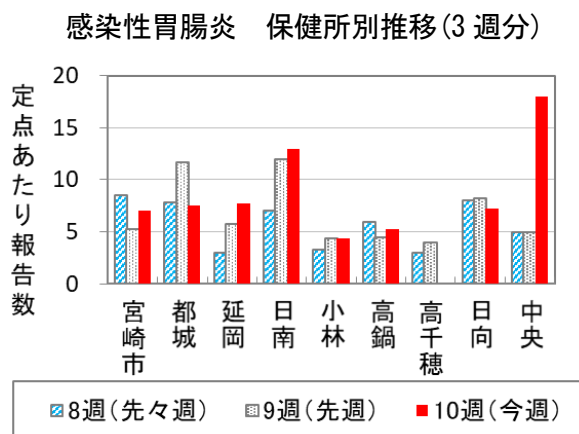
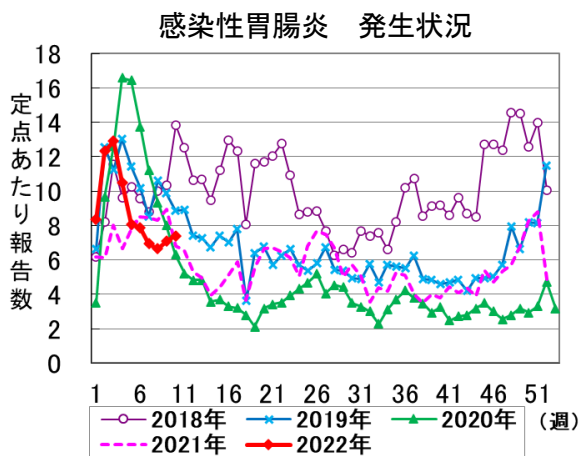
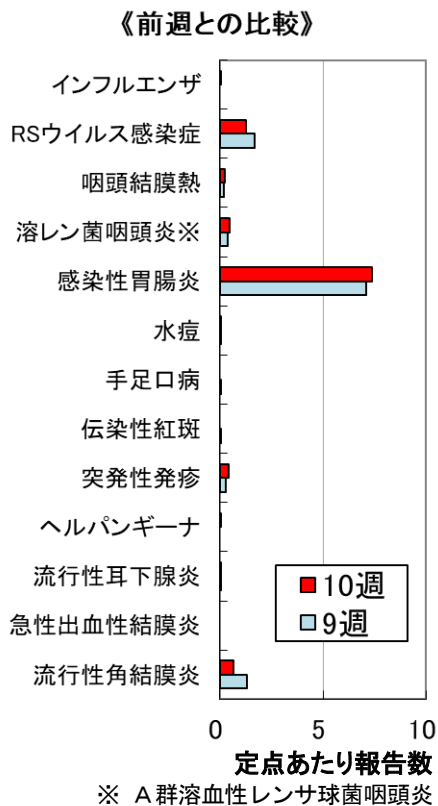
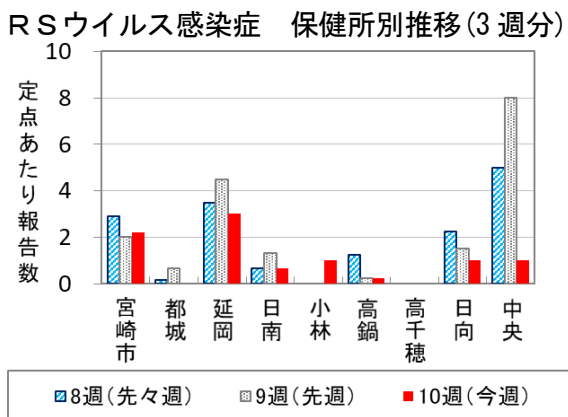
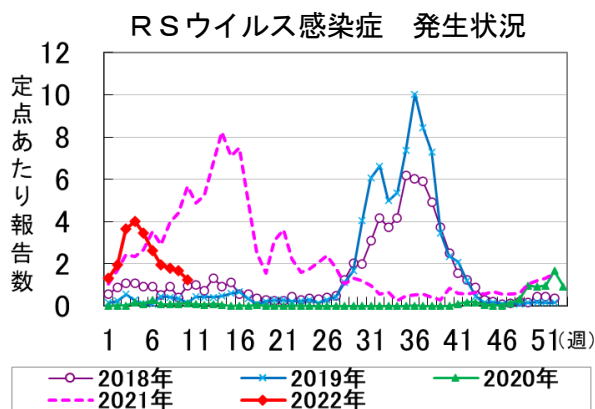
【RSウイルス感染症】

報告数は45人(1.3)で、前週比74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約0.9倍であった。延岡(3.0)、宮崎市(2.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は266人(7.4)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(8.9)の約0.8倍であった。中央(18.0)、日南(13.0)、延岡(7.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年3月14日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス なし。

 全国 2022 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	202 例			
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	1 例	レジオネラ症 14 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例	急性脳炎 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒 110 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳 13 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑であった。

RSウイルス感染症の報告数は626人(0.20)で前週比118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.36)の約0.6倍であった。富山県(3.0)、宮崎県(1.7)、島根県(1.1)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は11,962人(3.8)で前週比104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.7)の約0.8倍であった。大分県(12.4)、愛媛県(9.9)、香川県、鹿児島県(7.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年2月>

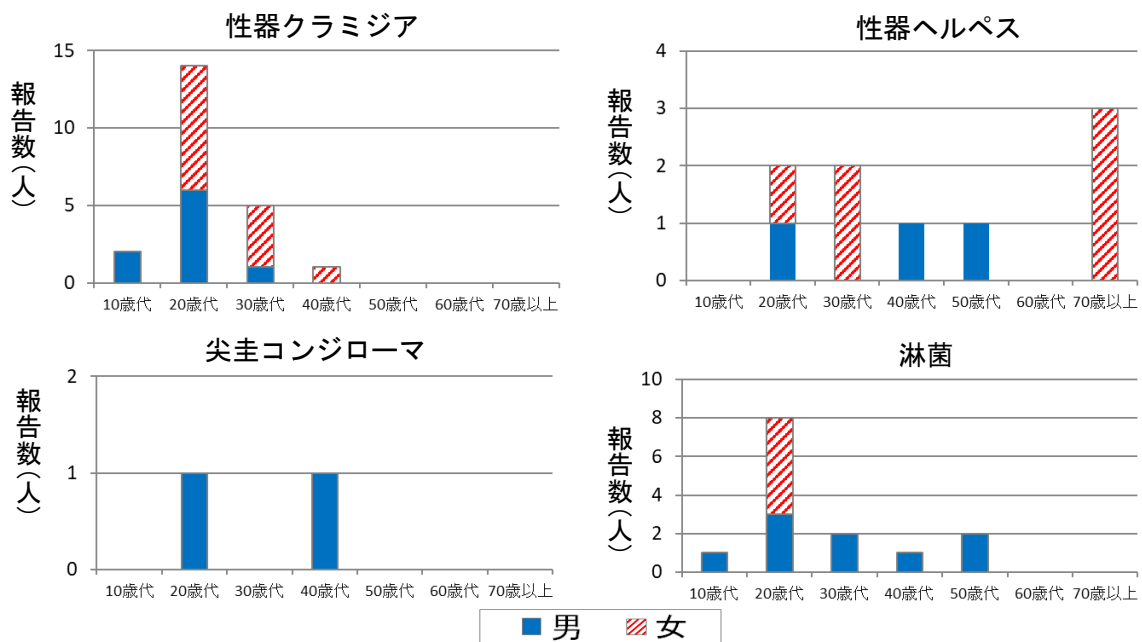
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は47人(3.6)で、前月比142%と増加した。また、昨年2月(2.9)の約1.2倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月及び昨年2月の約1.2倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性9人・女性13人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約2.3倍、昨年2月と同率であった。
(男性3人、女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、昨年2月の約0.7倍であった。
(男性2人、前月報告なし)
- 淋菌感染症：報告数14人(1.1)で前月の1.4倍、昨年2月の約1.8倍であった。
(男性9人・女性5人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は3,877人(4.0)で、前月比87%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,201人(2.2)で前月比93%、性器ヘルペスウイルス感染症616人(0.63)で前月比81%、尖圭コンジローマ376人(0.38)で前月比88%、淋菌感染症684人(0.70)で前月比78%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4)で、前月比89%と減少した。また、昨年2月(2.3)の1.5倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の約0.9倍、昨年2月の1.5倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,165人(2.4)で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,126人(2.4)で前月比93%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症28人(0.06)で前月比67%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月比67%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第10週(03月07日～03月13日)

疾病名		第9週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		2					2				
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	61	45	22		12	2	3	1		4	1
	定点当り	1.69	1.25	2.20	0.00	3.00	0.67	1.00	0.25	0.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	7	9	3	2				2		1	1
	定点当り	0.19	0.25	0.30	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	13	17	1	2	3	9				2	
	定点当り	0.36	0.47	0.10	0.33	0.75	3.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	255	266	70	45	31	39	13	21		29	18
	定点当り	7.08	7.39	7.00	7.50	7.75	13.00	4.33	5.25	0.00	7.25	18.00
水痘	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	16	8	1	3		1	1		1	1
	定点当り	0.28	0.44	0.80	0.17	0.75	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	4	3	1							
	定点当り	1.33	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～10週)

2類感染症	結核	18例(4)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例
	播種性クリプトコックス症	2例(1)	破傷風	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	15439例(1555)		

()内は今週届出分、再掲